



まっぴし

第127号
令和6年10月29日発行

議会だより



「音楽とアートの町」 倉石洋利 様

9月定例会

〈主な内容〉

- 令和5年度決算 2～3P
- 議案審議・補正予算・意見書 4～5P
- 議案の採決 6P
- 「開かれた議会特別委員会」を新設 7P
- 委員会報告 7P
- 11人の議員が町政を問う 8～13P

表紙の写真大募集!

詳細は裏表紙or
QRコードから



議会だよりが
スマートフォンでも
読めます

この広報紙は
UDフォントを
使用しています

UD FONT

笑顔が未来に広がる緑

令和5年度は、「松伏町第5次総合計画振興計画」の最終年度となっている。令和5年度決算は、歳入総額106億2,418万円、歳出総額98億9,800万円、歳入歳出差引残高7億2,618万円、実質収支額は6億1,507万円となった。

主な実施事業

子育て支援関連

- 応援ギフト事業 誕生した子ども1人当たり1万円分の子育て用品ギフト
- 松伏小学校に、発達障がい・情緒障がい通級指導教室を設置
- ふるさと納税を活用して、中央公民館、多世代交流学習館、小学校3校、中学校2校それぞれ50万円ずつ教育活動応援備品の購入
- 企業版ふるさと納税を活用して、中学2校に楽器を購入 502万円（写真1、写真2）



写真1

福祉・健康・社会保障関連

- 高齢者福祉タクシー券の利用限度を増額
- 防災情報通知システム
(利用者令和4年度39件→令和5年度102件)

生活基盤整備関連

- 街灯や庁舎内のLED化

産業振興関連

- 物価高騰対策……町民への応援商品券事業、町内の福祉施設・公共交通事業者等への支援
- ふるさと納税寄附金
(前年度比1,163万2,000円の増)



写真2

行財政運営関連

- 公共交通活性化協議会の立ち上げ

生活環境関連

- 避難所の開設訓練 128万7千円（写真3）
- 自転車乗車用ヘルメット購入費補助
(令和5年10月から192件の申請)
- 都市公園園内灯のLED化



避難所の開設訓練（写真3）

あふれるみんなのまち

令和5年度 歳出合計98億9,800万535円

議員からの意見や課題

- 経常収支比率 86% (2.9%増) 財政力が硬直化している。
70%～80%が適正と言われており、企業誘致により税収の確保などの一般財源を確保することを進め、各事業の経常経費等の削減を図っていきながら改善。
- 高齢者福祉タクシー券…利用率が低下。1乗車につき複数枚利用の検討。
- 結婚新生活支援事業…再婚も対象になることや、年度をまたいでの支給など、一層の周知。
- スポーツ推進奨励金…全国大会出場だけでなく対象の拡大。
- 将来目標人口の大幅な未達などの要因の分析
- 生活道路や排水路の整備不足
- 都市公園の雑草除去など維持管理不足
- 日本語指導員、JAETの報償費の見直し

賛成討論

前第5次総合振興計画の未達の要因をしっかりと分析され、第6次の基本計画を具体的なタスクに落とし込むことを願う。公共交通活性化協議会は、住民のニーズを的確に捉え、必要かつ有効な対応策をスピード感をもち実効をあげていただきたい。

賛成討論

町税の徴収率、現年課税分は平成30年度以降99%以上の高水準を維持している点を高く評価する。まちづくり基金は将来に向けた重要な基金だと確認できた。持続可能な発展に向けた財政基盤の強化と町民生活の向上に直結する施策が着実に実施されている。

賛成討論

国の補助金や自主防災組織等活性化推進事業委託金、県の防犯環境整備推進補助金などを活用したことを評価する。国の地方創生臨時交付金を活用し多くの事業を実施した。財政の平準化や圧縮を図り、各種基金についても適切に積み立てられ運用されたと評価する。

反対討論

いろいろな要望を出しても、お金がないと先送りされてしまう。しかし決算をみると町税は増収になっている。身近な生活道路や排水路に関する要望、子育て支援の充実や教育の充実について、さらに積極的な事業展開を求める。

主な議案

人事 松伏町教育委員会委員の任命について

池田 千恵美

(いけだ ちえみ)氏

[新任]

任期：

令和6年10月1日より令和10年9月30日まで



人事 松伏町公平委員会委員の選任について

浅水 尚伸

(あさみず よしのぶ)氏

[再任]

任期：

令和6年10月1日より令和10年9月30日まで



松伏町学校給食センター設備等改修工事請負契約の変更契約の締結について

請 負 金 額	119,889,000円
今回変更による増額	6,743,000円
請 負 業 者	埼玉県越谷市大道478番地 株式会社協和設備
履 行 期 限	令和7年3月31日

令和6年度松伏町一般会計補正予算（第2号）

総額 5億1,431万2,000円の増額

主な歳出

○総務費

3億414万8,000円

財政調整基金積立事業

3億753万5,000円

年度間の財政不均衡の調整、経済不況による収入減や災害復旧等の不時の支出増加に備えるため、基金に積み立てる。

庁舎設備等改修工事費

688万2,000円

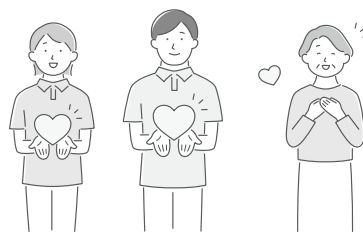
役場本庁舎消防用設備等の消防点検により屋内消火栓設備及び非常警報設備を改修するもの。

○民生費

5,405万9,000円

障害福祉サービス支援事業 2,342万3,000円

身体障がい・知的障がい・精神障がい・その他の心身の機能障がいのある者(児)の日常生活及び社会生活を支援し、障害福祉サービスの充実を図るもの。



○衛生費

5,605万4,000円

予防接種事業 5,577万4,000円

各種予防接種を行い、病気に対する免疫をつけ発病を防ぐとともに、感染症のまん延を防ぐもの。

○農林水産業費

718万8,000円

八間堀悪水路横断管改良及び法面工事 462万円

清水用水樋門改修工事 330万円



○土木費

4,498万4,000円

町道維持管理事業 2,250万円

道路、橋りょう、排水路、街路樹、その他官地敷を総合的に維持管理するもの。

道路改良事業 1,320万円

狭あいな生活道路の拡幅や歩行者が安全に通行できるよう整備を図るもの。

○教育費

2,621万円

学校給食供給事業 993万5,000円

学校給食を供給するため、給食材料等を購入し、調理・配送等の業務を委託するもの。

意見書

(一部省略)

※意見書の要旨等については、町議会ホームページに掲載しています。



選択的夫婦別姓制度の早期導入を求める意見書

可決

高等教育の学費軽減および奨学金返済の負担軽減の対策を求める意見書

可決

- 一、国の助成を増やし、高等教育(大学、短期大学、専門学校)の学費を半額に引き下げること。
- 一、日本特有の制度であり、実際に入学しなくても返還されない入学金を廃止すること。
- 一、給付型奨学金を中心とした奨学金制度に改善するとともに、支給対象と支給額の拡大をはかること。
- 一、独立行政法人日本学生支援機構の貸与型奨学金の返還を、半分程度に減額できるように、国が財政支援を行うこと。

9月定例会の議案の採決

議員名

平野 千穂 (共)	吉田 俊一 (共)	鈴木 勉 (社)	砂川 清時 (自)	村上 真由美 (公)	川上 力 (公)	松岡 高志 (自)	増田 等 (自)	高橋 昭男 (自)	長谷川 真也 (未)	増田 秀雄 (未)	高野 祐大 (自)	福井 和義 (自)	佐藤 永子 (自)	採決結果
-----------------	-----------------	----------------	-----------------	------------------	----------------	-----------------	----------------	-----------------	------------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	------

件名

【町長提出】

議案第32号	松伏町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第33号	松伏町公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第34号	松伏町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第35号	松伏町適応指導教室設置及び管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第36号	松伏町学校給食センター設備等改修工事請負契約の変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第37号	埼玉県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第38号	令和6年度松伏町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第39号	令和6年度松伏町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第40号	令和6年度松伏町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第41号	令和6年度松伏町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第42号	令和6年度松伏町下水道事業会計補正予算（第1号）	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第43号	令和5年度松伏町一般会計歳入歳出決算の認定について	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第44号	令和5年度松伏町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第45号	令和5年度松伏町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第46号	令和5年度松伏町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第47号	令和5年度松伏町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第48号	令和5年度松伏町下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第49号	財産の取得について（追認）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第50号	財産の取得について（追認）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

【議員提出】

発議第8号	選択的夫婦別姓制度の早期導入を求める意見書	◎	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	可決
発議第9号	高等教育の学費軽減および奨学金返済の負担軽減の対策を求める意見書	○	◎	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	可決
発議第10号	松伏町開かれた議会特別委員会を設置する決議	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	可決

(○=賛成 ●=反対 欠=欠席者 ◎=提出者、退=退席)

(会派名) 自=自民クラブ、チ=チェンジ松伏・無所属クラブ、未=未来クラブ、公=公明党、共=日本共産党、社=社会正義クラブ

松伏町開かれた議会特別委員会を新設します！

松伏町議会においても今後、議会と住民が連携していくことを基本とした、開かれた議会を進め、議会の機能強化や議員のなり手不足解消等を図るための方策を検討するため、「松伏町開かれた議会特別委員会」を新たに設置し、調査研究を行うものである。

よって、次のとおり特別委員会を設置する。

記

1 名称	松伏町開かれた議会特別委員会	委員長	高橋昭男
2 設置の根拠	地方自治法第109条及び松伏町議会委員会条例第5条	副委員長	川上 力
3 目的	開かれた議会に関する調査・研究		吉田俊一 鈴木 勉
4 委員の定数	8人		砂川清時 増田 等
			増田秀雄 高野祐大

委員会報告 見る・聞く・動く

総務産業常任委員会 行政視察

首都圏氾濫区域強化対策の進捗について

7月22日利根川上流河川事務所を視察。昭和22年のカスリーン台風の豪雨で利根川決壊し関東南部、埼玉県東部、東京の一部もちろん松伏も大きな被害を受けた。その後、国は台風を教訓として本格的な事業に乗り出し、利根川改修に関する計画が策定され①利根川上流ダム群の建設②河川整備③沿川では引堤と呼ばれる方法で川幅を広げる④堤防そのものも拡幅⑤渡良瀬遊水池の調整地貯留施設の整備が進んでいる。今後、町の浸水被害対策の参考とします。



利根川決壊地の「決壊口跡」にて

文教民生常任委員会 行政視察

子育て支援施策の成果と課題について

7月24日に滑川町に「こども医療費の無料化と子育て支援と学校給食費の無償化」について、行政視察をした。こども医療費の無料化は子育て世代の経済的・心身的な負担を軽減する施策として取り組み、子育て支援は出産の奨励を図り、地域社会の活性化を目的とし、学校給食の無償化は平成23年4月より私立・公立を問わず全ての保育園幼稚園、小中学校の子どもを対象に実施した。家計の負担が軽くなった。貧困家庭支援につながった。課題としては一度始めたサービスを戻すことは難しい。毎年度2億円かかり、ハード面の整備が出来ないとのこと。



滑川町の町長をはじめ職員の説明を受ける

町政に関する

一般質問の主題

一般質問の会議録全文は
町のホームページから検索できます

川上 力

- 地域公共交通活性化の取り組みで暮らし続けられる町実現
- 町内の道路交通行政について
- 地域防犯カメラの設置について

村上 真由美

- がん予防のためのHPVワクチン接種
- 小・中学校外国人児童・生徒の抱える困難を軽減させるために
- 小・中学校のプールや遊具の管理にかかる教員の負担軽減

福井 和義

- 「いつ起きてもおかしくない」首都直下地震

増田 等

- 総合振興計画の将来目標人口設定について
- 人口減少が町財政に与える影響について
- 少子化の下での町の幼児教育・保育、また小中学校運営への影響について

砂川 清時

- 子ども・子育て支援事業について
- 埼玉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例について

鈴木 勉

- 中学校の学校給食費、学童保育料、0歳～2歳児の保育料等の子育て支援無料化施策を早期に実施せよ
- 松伏第二中学校北側の約15ha農地を商業地及び住宅地として土地区画整理事業方式による新市街地開発の実現をめざせ
- 長宮地区南側に防災公園を兼ねた調整池公園の新設をめざせ

増田 秀雄

- 災害時における避難所（学校の体育館）へのエアコン設置について
- 農業の諸問題について
- ごみ減量について

松岡 高志

- 町内の建築物耐震改修の促進を
- 自治会の加入促進への支援を

平野 千穂

- マイナ保険証でのトラブルや不具合の有無の把握と、丁寧な周知の徹底を
- ごみの減量や環境対策として、プラスチック分別収集の促進を
- 定期的なタウンミーティング開催など、住民参加型行政の確立を

高野 祐大

- 公園の活性化と公園ボランティア活動の推進について
- 小・中学校における夏休みの宿題への対応について
- 町を縦断する高速道路（東埼玉道路自動車専用部）について

吉田 俊一

- 学校給食費の無償化をめざす取組について
- 国民健康保険税の負担軽減について
- 普通地方交付税などの交付決定額と当初予算額との比較について
- 介護保険制度の改善が必要ではないか
- 町介護保険料の引き下げについて

11人の議員が町政を問う



かわかみ つとむ
川上 力
(公明党)

Q 地域防犯カメラ設置に支援を

A 有効な手法を調査研究していく

問 作成を進めている地域公共交通計画に「官民共創」「交通事業者間共創」「他分野共創」の考えを取り入れ、町と事業者と町民が共創する新たな交通の在り方を検討し位置付けられないのか伺う。

答 企画財政課長 地域の多様な関係者による「共創」の取組は、大変重要であると認識している。「共創」の観点を地域公共交通計画に位置付けることについて、今後、各種調査結果等を分析した上で、地域公共交通活性化協議会で検討を進める。

問 町道3号線八枚橋を通過して町道5号線への大型車の通行が散見されるが認識と対策について伺う。

答 総務課長 町道5号線の安全確保のため、徐行を促す注意看板を設置し対応している。現在、交通規制について、所管の吉川警察署と協議している。

問 広域農道の金杉地区の歩道整備と、柿の実団地入口の信号機設置について町の認識を伺う。

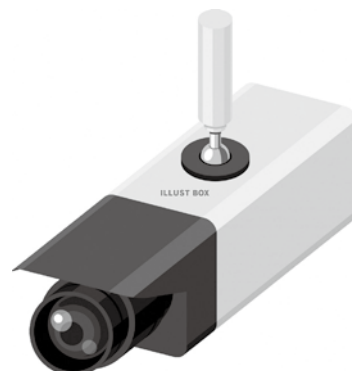
答 まちづくり整備課長 金杉地区からの通学は金野井用水路管理用道路を通行し、安全に通学できる

ことから、現在、歩道整備は計画していない。

答 総務課長 過去5年間で4度の事故があったと認識、信号機設置は吉川警察署と協議をしていく。

問 地域防犯カメラ設置の支援が出来ないのか伺う。

答 総務課長 「松伏町防犯カメラの設置及び運用に関する要綱」を策定した。今後防犯カメラの設置の支援に有効な手法を調査研究していく。



急がれる地域防犯カメラ設置の支援



むらかみ まゆみ
村上 真由美
(公明党)

Q 外国人児童・生徒に音声教材を A 活用できるよう準備を進める

問 厚生労働省は、HPVワクチンキャッチアップ接種の期限となる令和7年3月末までに計3回接種を終えられるよう令和6年9月中の接種開始を呼びかけている。接種の促進に向けてさらなる周知が必要だ。

答 **すこやか子育て課長** 今月は集中的に、町ホームページ、マップメール、XなどのSNSも活用して、周知に努める。

問 HPVワクチンの男性への接種について厚生労働省の調査では、男性本人の中咽頭がん、肛門がん、尖圭（せんけい）コンジローマなどの予防に効果があり、女性への感染予防にもなる。希望し接種した方に助成が出来ないのか。

答 **すこやか子育て課長** 現状では任意接種なので、助成を行う予定はないが、定期接種化の検討状況には国の動向を注視し、情報把握に努めていく。

問 小・中学校外国人児童・生徒の中には、学習に必要な日本語の読み書きが困難なお子さんがある。

教科書バリアフリー法の一部改正で外国人児童・生徒等が音声教材を使用できるようになった。申請し活用してはどうか。

答 **教育総務課長** 令和7年度の音声教材の需要に関する調査を、各小・中学校に行っている。令和7年度以降、十分に活用できるよう、準備を進めていく。



外国人児童・生徒の困難軽減



ふくい かずよし
福井 和義
(チェンジ松伏・無所属クラブ)

Q 首都直下型地震について A 総合的に災害対応に当たる

問 2024年元日の4時過ぎ、能登半島を震源とする最大震度7の地震が発生し、能登半島を中心に多くの家が倒れ、崩れた土砂は、集落をのんだ。また、2011年3月11日マグニチュード9という千年に1回の地震が東日本を襲って想定外の被害となった。

地震は「いつどこで」起きるか分からない。「どこで、どんなふうに起きても」、「何をすべきか」を今から準備すれば、犠牲を減らすことができる。そして、地域の防災・減災活動に参加して、自分と家族の命を守り、地域の人々の命を守ることが、社会を守ることにつながっていると思う。

(1) 「いつ起きてもおかしくない」状況にある地下直下地震。町の対策は。

答 **総務課長** 松伏町地域防災計画では、町に最大の被害が予測されている茨城県南部地震、最大震度6強を想定し、災害対策本部の設置や、職員の非常参集訓練の実施、また、住民の皆様と共に行う

避難所開設訓練や防災知識の普及を目的とした出前講座、自主防災組織の充実強化を実施している。また、災害発生時には、消防、警察、県、自衛隊、自主防災組織などの関係機関との連携を図り、総合的に災害対応に当たる。



松伏町防災訓練



まず だ ひとし
増田 等
(自民クラブ)

Q 小学校・中学校数の維持は可能か

A 学区の見直し・統廃合は当面不要

問 今後15年で対象年齢層の大きな転入がない限り児童・生徒数は約1/3に急減する。

町内の幼稚園・保育園への影響と小学校3校・中学校2校の学校数の維持は可能か。

答 すこやか子育て課長 児童数の減少で、幼稚園・保育園によっては経営に影響の及ぶ可能性があるものと考えている。法に基づき、各園に実地指導監査を行っており各園の状況を把握している。

答 教育総務課長 児童・生徒・教職員数から、令和12年度までに学区の見直しや統廃合を実施しなければならないという緊急の状況ではない。

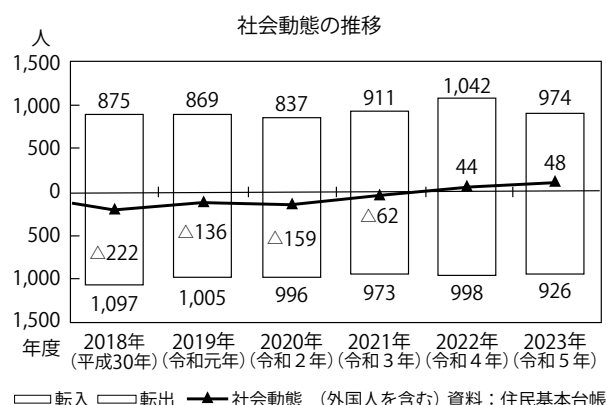
問 第5次総合振興計画の人口目標が到達しなかったのは、挽回施策がないまま設定されたものと言わざるを得ないが、町長の考えは。

答 町長 コロナ禍において、物価の高騰が全体的な事業の遅れを出していると認識している。

問 町の人口動態のうち社会動態は平成30年の減少が最大である。その後年々縮小し、令和5年から

プラスに転じている。人口減少の中でも松伏町に住みたいと考える方が増えていると考えられる。町はこの変化をどのように捉えているか。

答 新市街地整備課長 近年、市街化区域内で住宅開発が散見されている。多くは相続に起因する住宅開発で、今後右肩上がりに進むとは考えておらず、空き家の活用策の調査研究が必要と考えている。



すながわ きよとき
砂川 清時
(自民クラブ)

Q 新たなヤード規制を問う

A 町民の皆様の安心にも繋がる

問 新たな埼玉県特定再生资源屋外保管業の規制に関する条例について町の現状と関りを問う。

答 環境経済課長 屋外の鋼板等で囲われた場所での自動車解体や金属類などの屋外保管施設、いわゆるヤードと称される事業所は町内37ヶ所ある。新たな県条例対象施設の24ヶ所を加え、既に規制のある「使用済自動車の再資源化等に関する法律」での規制施設が12ヶ所、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」での規制施設が1ヶ所となり、周辺の生活環境の保全に寄与するとともに、町民の皆様の安心にも繋がるものと期待する。

問 町民や近隣住民からの苦情・要望に対する対応は。

答 環境経済課長 町は、苦情や要望の初期対応を行い、権限に基づいた対応を県に引き継ぎ対応する。

問 子ども・子育て支援事業を問う。

答 子育てすこやか課長 未就学児保護者からの要望で、朝の延長保育を7時からとすることや、15時までの土曜保育の時間延長が検討課題である。

教育・保育の内容の充実、教員・保育者の資質の向上は、こども家庭庁や県からの児童教育・保育の先進事例や、事業内容の充実に資する情報提供を行い、幼稚園教諭や保育士の資質向上やキャリアアップ研修の案内を実施。また、所長会議や3年ごとの実地指導監査時にも情報提供を行い、教育・保育内容や職員の資質向上に努める。

町内の屋外の鋼板等で囲われた場所での自動車解体や金属類などの屋外保管施設 (いわゆるヤード) 37ヶ所の規制状況		
法律・規制条例名		規制ヶ所数
1	埼玉県特定再生资源屋外保管業の規制に関する条例	24
2	使用済自動車の再資源化等に関する法律	12
3	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	1
合計		37

※ 1については、令和7年1月1日施行



すずき つとむ
鈴木 勉
(社会正義クラブ)

Q 学校給食費等の無料化施策実施を

A 財政状況から実施困難

問 少子化対策及び子育て支援政策として、①中学校の学校給食費、②学童保育料、③0歳児から2歳児の保育料等の無料化施策を早期に実施すべきだ。

答 教育総務課長 給食費の無償化は、少子化対策や子育て支援策として、有効な施策の1つであると認識しているが給食費無償化を実施する場合には実施した年以降、継続的な支出が必要になる。当町において、中学校の全生徒の給食費を無償化するために必要な町の負担は、年間約4千4百万円になる。当町の財政状況を踏まえると困難。

答 すこやか子育て課長 学童保育料は、月額7千円となっている。学童保育料を無料化した場合、約2千3百万円が必要となる。当町の財政状況を踏まえると、現段階では大変難しい。
0歳から2歳児までの保育料を無料とした場合、約4千6百万円の費用が必要。財政状況を踏まえると大変厳しい。

問 財源については、財政調整基金など18億円ある。

その基金の一部を取り崩していく方法や支出の全般的な見直しという形で必要な財源を確保する方法があるのではないかと。町長の考えは。

答 町長 第二中学校の建て替えや公共施設の建て替え問題もある。基金を全部崩すわけにはいかない。東埼玉資源環境組合の大規模改修の町負担金増などもあり、給食費に持っていけない



町内の小・中学校に調理・配送される町給食センター



ますだ ひでお
増田 秀雄
(未来クラブ)

Q 避難所となる体育館へエアコンを

A 猛暑が続く中、設置は有益と認識

問 災害時の避難所となる体育館へエアコン設置を。

答 総務課長 猛暑が続く中、熱中症対策も必要であり、エアコン設置は、避難所運営にも役立つと認識している。エアコン設置には体育館の構造上、断熱性確保工事等が必要となり、多額の工事費になることが予想され、町全体の状況を踏まえた優先順位を考慮した上で、関係課と調整する必要があると考えている。

問 稲作の害虫被害に対し補助金の交付を。

答 環境経済課長 殺虫剤の購入費用や、収穫量の減少に対しての補助金交付の予定はないが、被害状況は、今後の収穫、出荷段階で明らかになるため、埼玉県やJAさいかつ等と連携して情報収集に努め、動向を注視していく。

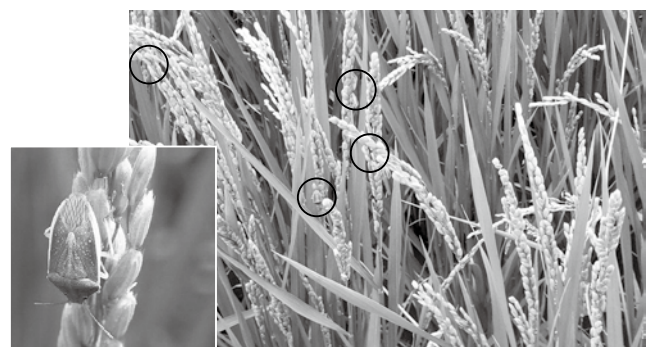
問 農地の野焼きには、いかなる制限があるのか。

答 環境経済課長 一律の禁止規定から除外されており、農作業に伴う全ての焼却行為が禁止されていない。町へ苦情が寄せられた場合は、風向き等

の気象条件や燃やす場所の地理的条件を考慮して行うよう指導することとなる。

問 ごみ減量のためのアンケートを実施する考えは。

答 環境経済課長 アンケート調査は効果的であると思うが、現状では日常の窓口対応及び「廃棄物減量等推進審議会」を活用した課題の把握に努めてまいりたい。



大量に発生したイネカメシ



まつおか たかし
松岡 高志
(チェンジ松伏・無所属クラブ)

Q 自治会加入促進への支援を

A 各自治会の活動事例を情報提供

問 当町の建築物耐震改修促進計画の進捗と建築物の耐震化の現状を問う。

答 新市街地整備課長 各種耐震化促進対策の展開や住宅の建て替えなどの進展により、耐震化率は確実に向上していると考えている。

問 建築物の外壁タイル及び看板等の落下による危険防止、ブロック塀の安全対策について、現状の把握と安全対策をどのように講じていく考えか。

答 町長 危険な箇所に関しては、できれば新しいブロック塀にしてほしい。今はたしか120センチ以上のブロック塀は積めないような規定になっているかと思うが、そのような形での指導等を今後ともしていきたいと認識している。

問 自治会への加入促進には自治会の必要性やメリット、加入促進の役割分担などのマニュアルが必要。東京都杉並区の「杉並区町会・自治会ハンドブック」等が参考になると思うが、町の考えは。

答 総務課長 自治会の必要性や活動内容、持続可能

な自治会運営ができるよう、他の自治会で行っている自治会未加入者への加入促進の事例紹介などを取りまとめた自治会ハンドブックを当町でも作成し、自治会連合会長及び自治会長に配布している。先進自治体、近隣自治体の冊子も参考にしながら、年度ごとに更新し、現実に応じたハンドブックになるように作成に努めたいと考えている。



松伏町「自治会ハンドブック」表紙



杉並区町会・自治会 HANDBOOK表紙



ひらの ちほ
平野 千穂
(日本共産党)

Q プラ分別や家庭ごみ有料化の対応

A プラ分別は11年度までに実施予定

問 町は、瓶、缶、不燃で指定袋を使用しているが、ゼロカーボンの趣旨から、環境に配慮した素材にするなど検討が必要ではないのか。

答 環境経済課長 瓶、缶は、住民の分別意識が定着している。指定袋削減による可燃ごみの削減、町民の経済的負担の軽減等の理由から、令和7年度から指定袋を廃止する方向で審議を行っている。

問 プラごみ分別や家庭ごみ有料または減量は、ごみ処理施設更新の国の補助交付要件。町の対応は。

答 環境経済課長 プラ分別収集は、令和11年度までの実施を予定した審議中。家庭ごみ有料は、可能な限り早急に取り組むべき施策と考えている。課題は5市1町での実現と、住民理解を得ること。

問 マイナ保険証によるトラブルや不具合など町内の医療機関等や住民から、の報告はないのか。

答 住民ほけん課長 大きなトラブル等の報告はないが、マイナ保険証の顔認証が認識されず通らなかったり、暗証番号を3回以上誤り、ロックの解

除のために役場に来庁されたケースが数件あった。**問** マイナンバーカードとマイナ保険証の連携の解除が今後可能になると認識している。進め方は。

答 住民ほけん課長 国民健康保険は10月下旬以降に登録解除の受付ができるよう準備を進めている。後期高齢者医療保険は11月上旬から受付を開始する予定。



「プラ容器」



「プラ製品」



たかの まさひろ
高野 祐大
(チェンジ松伏・無所属クラブ)

Q 東埼玉道路専用部の計画の変更点

A 構造形式が盛土から橋梁に

問 小さな公園で管理が行き届いてない。町民の要望としては、しっかりと管理された公園を身近に欲しいというのが実際のところ。町長は、この問題にどんなアプローチで解決を考えているのか。

答 町長 公園の管理につきましては、地域の人たちが公園を管理するのが理想的だと認識している。

問 松伏町は、石川遼選手であつたりとか石島雄介選手をはじめとする全国的な有名な人物を輩出してきた。夏休みの宿題を廃止して、子供たちが自らの好奇心を追求してやり抜く力を育む時間を増やすことが、この町の未来のために最適ではないか。

答 教育長 確かに一番大事なのは、子供に自ら学ぶ力、主体的に学ぶ力、生きていく力をつけてあげることが学校の責務だ。教育課程、学校でどういう研究計画をつくるかは、校長の専決事項である。

問 東埼玉道路自動車専用部は、松伏町の交通インフラとして重要な役割。工事の進捗状況を伺う。

答 新市街地整備課長 八潮市八條から松伏町田島ま

での約9.5kmが事業中である。国交省は今年度、調査・設計・用地買収及び改良工事を実施する。

問 整備計画の変更点はあるのか伺う。

答 新市街地整備課長 当初計画では盛土構造とされていたが、事業着手に伴い、地質調査を実施し、橋梁構造が優位であることが確認されたため、構造形式が盛土から橋梁に変更されることになった。



東北自動車道や常磐自動車道を補完する東埼玉道路
出典：国土交通省関東地方整備局北首都国道事務所ホームページ



よしだ しゅんいち
吉田 俊一
(日本共産党)

Q 学校給食費無償化をめざす取組を

A まず第3子からスタートしたい

問 令和6年度4月・5月分の給食費について無償化が実施された。部分的な無償化だが、保護者や学校関係者からも喜ばれている。教育委員会として学校関係者や保護者からの意見や感想を把握しているのか伺いたい。

答 教育総務課長 1期2期の給食費について、給食費の値上げに伴う保護者への負担軽減のため、国の交付金を活用して1万2000円分を軽減させていただいた。好評の声、来年度も軽減を実施してほしいというお声を聞いている。

問 この間の議会での発言(答弁)を聞いていると、来年度どうするかは、まだ財政状況も含めてはつきりしていない。教育委員会と町長部局で協力して、今年度実施した4月5月分(無償)を継続し、拡大をしていただきたい。

答 教育長 課題が財源というところに来ている。保護者からもやはり、非常にありがたかったという声を聞いているので、許されるのであれば、今年

度と同様のものができるといいと思う。

答 町長 全児童・生徒の無償化をすると令和7年度で1億400万円ほどかかる。まずは第3子から、松伏田島工業団地の建設が完了し、固定資産税収が上がってきたら、このへんからスタートしたい。また、県町村会として、早急に国の責任として給食費の無償化をと要望書を上げている。

学校給食費の無償化に必要な事業費試算(令和7年度)

給食費無償化の対象・仕方・規模	事業費試算
1 令和6年同様、4月・5月分1万2千円の無償化	約2200万円
2 4月・5月・6月分の1万8千円の無償化	約3300万円
3 第3子以降の無償化(義務教育内に3人)	約600万円
4 第2子以降の無償化	約3300万円
5 中学校を無償化	約4200万円
6 小学校を無償化	約6200万円

議会だより



カメラの種類（一眼レフ、コンパクトカメラ、スマートフォン等）は問いません！
お気軽にご応募ください！

募集内容

松伏町内で撮影された写真（行事、風景、人物など）
※撮影内容により、被写体または所有者の承諾が必要

応募資格

松伏町内に在住・在勤または在学の方

応募要件

- JPEG形式・カラー・高画質デジタルデータ（1MB～9MB程度）で、解像度350dpi以上のもの
- 町内において概ね3年以内に撮影したもの
- 応募者本人が著作権を有し、未発表・未加工のもの

応募方法

議会事務局に持参、郵送またはメール(gikai@town.matsubushi.lg.jp)

※応募に係る詳細は、町ホームページでご確認ください。

傍聴・感想ありがとうございました

傍聴者の声

（抜粋です）

- 会計管理等による決算補足説明資料の貸出があれば良いと思う。
- Web上で議会中継ができれば良いと思う。
- 決算審査議会を傍聴しましたが、執行部の丁寧な説明が印象的でした。質問する議員には事前調査を深め、もう少し工夫した質問を期待します。
- パソコンの使用者が多くなった。

次の令和6年12月定例会の日程(予定)

令和6年12月5日（木）～13日（金）

詳細は議会運営委員会で決定後、お知らせします。

9月定例会・傍聴者数

9月2日	3名
9月4日	6名
9月5日	2名
9月6日	9名
9月10日	2名
9月12日	0名
9月17日	5名
9月18日	1名
9月20日	0名
9月25日	1名

合計 29名

編集後記

今回は表紙の写真を一般公募の中から選ばれた議会だより第一号です。広報委員会では「まつぶし議会だより」をさらに皆さんに親しまれるよう努力をしています。今回の議会だよりは令和5年度の決算審議の内容が重点です。議会をより身近に感じていただく一環として沢山の方々に写真公募をお願いしています。また議会の傍聴にもお出掛け下さい。感想や貴重なご意見をお待ちしています。

佐藤 永子

議長	田口 義博
議会広報発行特別委員会	
委員長	高野 祐大
副委員長	平野 千穂
委員	佐藤 永子
委員	高橋 昭男
委員	増田 等
委員	増田 秀雄
委員	村上 真由美